



閉塞性動脈硬化症の検査	1ページ
三重県立看護大学との連携協力に関する協定を締結しました／医療福祉相談室だより	2ページ
「やまばとギャラリー」「個展」情報コーナー!／三重病院レポート「クリスマスコンサートを開催しました」	3ページ
アレルギー教室のクッキング／外来からのお知らせ／外来診察のご案内	4ページ

糖尿病
ワンポイントアドバイス

閉塞性動脈硬化症の

検査

「一定の距離を歩くと足や下腿が痛くなり、休むと良くなる」
症状はありませんか？



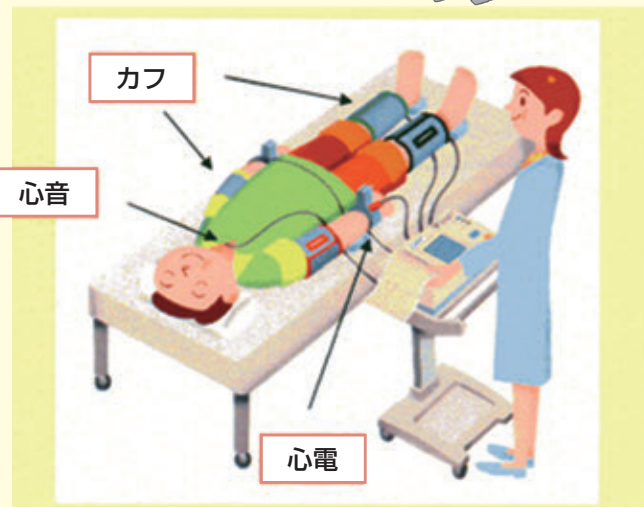
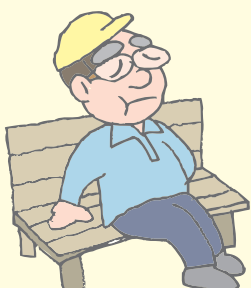
糖尿病で血糖値が高い状態が続くと、血管が侵されて様々な合併症がおこります。

細い血管が障害されると、糖尿病3大合併症

①糖尿病神経障害 ②糖尿病網膜症 ③糖尿腎症、大きな血管が障害されると、脳梗塞や狭心症・心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症がおこります。今回のワンポイントアドバイスでは閉塞性動脈硬化症の検査について説明します。

閉塞性動脈硬化症は、動脈硬化で足の動脈が詰まって、下肢冷感・しびれ・間歇性跛行（一定の距離を歩くと足や下腿が痛くなり、休むと良くなる）、重症例では安静時疼痛等の症状が出ます。やがては下肢末端部の皮膚潰瘍・壊死を生じ、下肢切断に至る怖い合併症です！

閉塞性動脈硬化症を早期に診断する検査として、PWV（大動脈波伝搬速度）またはCAVI（心臓足首血管指数）やABI（下腿上腕血圧比）があります。簡単に言うとPWV・CAVIは「足の動脈の硬さ」、ABIは「足の動脈の詰まり具合」がわかります。PWV・CAVIとABIは同時に検査できます。



検査方法は ①両手首に心電図用の電極、②胸に心音用のマイク、③両手と両足に血圧測定用のカフを装着し、5分ほど静かに横になって頂きます。血圧計のカフは締まっていますが、特に痛いことはありません。

閉塞性動脈硬化症があると心筋梗塞や脳梗塞も合併しやすいと言われており、閉塞性動脈硬化症の早期診断は生命予後の改善につながります。特に糖尿病・高血圧・高脂血症・肥満や喫煙のある方は、動脈硬化になりやすいですので、PWV・CAVIやABIの検査をお勧めします。

（臨床検査技師 中島 美由紀）